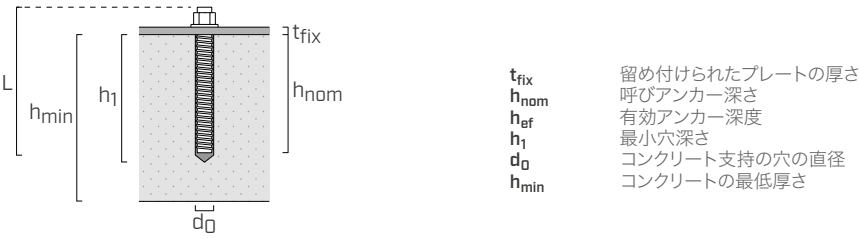


■ アンカー施工パラメータ | TCP200 - TCP300

施工	アンカーのタイプ		t_{fix}	h_{ef}	h_{nom}	h_1	d_0	h_{min}
	タイプ	$\varnothing \times L$ [mm]	[mm]	[mm]	[mm]	[mm]	[mm]	[mm]
TCP200	VIN-FIX PRO EPO-FIX PLUS 5.8	M12 x 130	3	112	112	120	14	150
	SKR-E	12 x 90	3	64	87	110	10	
	AB1	M12 x 100	3	70	80	85	12	
	EPO-FIX PLUS 5.8	M12 x 180	3	161	161	170	14	200
TCP300	VIN-FIX PRO EPO-FIX PLUS 5.8	M16 x 190	4	164	164	170	18	200
	SKR-E	16 x 130	4	85	126	150	14	
	AB1	M16 x 145	4	85	97	105	16	
	EPO-FIX PLUS 8.8	M16 x 230	4	200	200	205	14	240

プレキャスト INA ねじ山付きロッド、ナットとワッシャー付き: 参照ページ 520
サイズにカットする MGS ねじ山付きロッド、クラス 8.8: 参照ページ 534

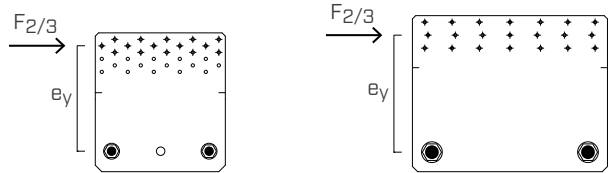


■ コンクリート用アンカーの検証 | TCP200 - TCP300

アンカーを使用したコンクリートへの締結は、木材の締結仕様に応じたアンカーの応力に基づいて検証する必要があります。
ピン/ネジの位置と数によって、 e_y の離心率の値が決まります。これはピンの重心とアンカーの重心の間の距離として理解されます。

アンカークループは以下を検証する必要があります:

$$V_{Sd,x} = F_{2/3,d}$$
$$M_{Sd,z} = F_{2/3,d} \times e_y$$



一般原則:

- EN 1995-1-1 に準拠した特性値。コンクリート用アンカーの設計値は、該当する欧州技術評価に従って算出されます。

接続設計強度値は、以下の表の値から得られます:

$$R_d = \min \left\{ \begin{array}{l} \frac{(R_{k, \text{timber}} \text{ or } R_{k, \text{CLT}}) \cdot k_{mod}}{Y_M} \\ \frac{R_{k, \text{steel}}}{Y_{steel}} \\ R_{d, \text{concrete}} \end{array} \right.$$

係数 k_{mod} 、 Y_M および Y_{steel} は、計算に使用される現行の規則に従って取得する必要があります。

- 計算プロセスには、木材特性密度 $\rho_k = 350 \text{ kg/m}^3$ と薄い補強層を備えた C25/30 コンクリート強度が使用され、最小厚さは表に記載されています。

- 木材要素とコンクリート要素の寸法決定と検証は、別に行う必要があります。
- 強度値は、表に定義されている計算仮説に有効です。表の条件とは境界条件（エッジからの最小距離など）が異なる場合、アンカーとコンクリートの強度値は、設計要件に従って MyProject 計算ソフトウェアを使用して検証できます。
- 性能カテゴリ C2 の耐震設計。アンカー（オプションa2）の延性要件なし、EOTA TR045に準拠した弾性設計。ケミカルアンカーの場合、アンカーとプレート穴の間の環状空間が充填されていることが推定されます（ $a_{gap}=1$ ）。